

❖団体名	公益社団法人 アジア協会アジア友の会
❖ASC2021 実施日	2023年3月6日

❖セフルチェック結果

指針項目	項目数	実現している項目数	実現していない項目数
組織運営基準	18	18	0
事業実施基準	11	11	0
会計基準	11	11	0
情報公開基準	4	4	0
合計	44	44	0

❖アカウントビリティへの考え方

JAFS では、日本で誕生し 40 年以上の活動経験と共に公益法人格を持つ NGO として、アカウントビリティの向上を心がけ、そのための取り組みを常に行っている。特に社団法人である故に支援者としての会員の存在が会が成り立つため、会員を増やして行くには、会の透明性や信頼度としてアカウントビリティがしっかりと行なわれることが必須である。そして、掲げるビジョンの実現を目指し、ミッションを達成する為には、定期的な事業の見直し評価が必要で、その振り返りと進歩が団体を強くすると考える。その為にも常にアカウントビリティの高い団体をめざし、様々な有識者や経験者の知恵や経験を JAFS に活かしてもらい、市民により市民の活動を今後も継続していくことで会の向上につなげて行く。

❖アカウントビリティ向上の取り組み紹介

- 1) 会員へのケアや会員数の増強
- 2) 自己財源の安定化
- 3) 短期的事業の評価及び中長期計画の策定及び評価
- 4) 課題抽出とその対策づくり
- 5) 運営の系統立てと理事の役割明文化
- 6) 組織運営

❖上記取り組みの実施状況

- 1) 会員へのケアや会員数の増強：会員数の増強を目指すために、上記にあげたように組織強化につながるのみならず、組織運営への透明性の向上につながるため、会員活動委員会だけでなく、経営企画戦略委員会においてもテーマの柱に「会員」をおき、新規会員を獲得するための方策と同時に継続支援者の増大のための対策を検討することにより、JAFS全体を見渡している。
- 2) 自己財源の安定化：1) と共に、寄付獲得のために会員・支援者のかかわり方や、支援者と神益者との分かち合いを大切に活動を展開している。その多くは出来ている事業ではあるが、一部出来ていない事業があり、会員・支援者が楽しく活動できる仕組みづくりに今後組んで行く必要がある。
- 3) 短期的事業の評価及び中長期計画の策定及び評価：事業・組織運営に対して網羅した中長期計画が策定された事により、それをもとに実施がすすめられている。中にはどの委員会が責任を持つのか、不明確であったり、活動が一部かぶるような委員会があり整理が必要だということが進める上で見えてきた。評価に関して実施率100%では

無い為、すべての評価の実施を目指し、今後につなげていく。

4) 課題抽出とその対策づくり：経営企画戦略委員会を筆頭に、各委員会が運営を行う上での課題を抽出出来る仕組みになっている。しかし、対策についての全体の動きが活発に行われているとは言い難く、その改善がこれから必要である。

5) 運営の系統立てと理事の役割明文化：責任所在の明文化や各委員会にすべての理事が役割をもって関わる体制が出来ている。その為に少ないスタッフ数で事務局を回すことが出来、活動の活発化にも繋がっている。役割が重荷にならない調整をしながら、理事と進める運営を行う対応が引きつづき必要である。

6) 事務局員のスキルアップと専門：事務局員の主体性に任せている為に、研修を好んで受ける職員とそうでない職員とのばらつきがある。近年、職員全体向けの統一研修の実施ができていないため、各種規程の整備にあわせた研修実施により、必要な内容については統一性を図ることが必要。